



公明党  
三上 裕久

### 栄町3―3地区の公開空地の活用について

**質問** 栄町3―3地区の再開発で造成が予定されている公開空地は、イベント機能を備えるものと考えているが、どのような広場を考えているのか伺う。

また、にぎわい創出の点で、栄町3―3地区と三楽街は一体であると思うが、三楽街にあるにぎわい広場は、今後どのようなものか伺う。

**答弁** 公共な空間という位置づけとなっており、目的がイベントのためだけのものにはなりません。

また、にぎわい広場は、設置後10年が経過しており、用途廃止を含め、その在り方について関係団体と調整しているところです。

**質問** 公開空地は、イベント機能を備えた広場にすべきと思うが、再度考えを伺う。

**答弁** 栄町3―3地区や三楽街も含めた中心市街地全体でのにぎわいづくりを考えていきたいと思っ

ています。

### 成年後見人制度の周知について

**質問** 成年後見人制度の市民への周知はどのように行われているのか伺う。

**答弁** 滝川市社会福祉協議会による広報紙の配布や関連事業所などへのパンフレット送付により、関係者への周知にも努めています。今後は、研修会を開催し、さらに普及啓発を進める予定です。

**質問** この制度では、市民の協力を必要とされているが、市民後見人の養成状況を伺う。

**答弁** 成年後見支援員12人、生活自立支援員13人、普及啓発員13人が登録されています。

### 市道の補修について

**質問** 中心街のバリアフリー化が進んできているが、一方で、市内全域を見渡すと穴だらけの市道が点在しているのが現状である。このことについて市長の見解を伺う。

**答弁** 財源の少ない中で、できる限り改良していきたいと考えていますので、市民の皆さんのご理解をお願いしたいと思っています。



新政会  
本間 保昭

### 社会教育施設の複合化と市街地活性化について

**質問** 老朽化が進み、改築もしくは大規模改修の必要に迫られている文化センターは、設備関係がいつ使用不能になっても不思議ではない状況であり、また、美術自然史館も今後多額の改修費用を要することは明らかである。さらに、文化ゾーンのその他施設についても、現状のままにはできない中でスマイルビルの休止を決断した場合、たきかわホールの機能をどうするのか、総合福祉センターの機能は補完されるのか、などの問題も解決しなくてはならない。たとえ、施設を改築もしくは改修したとしても多額の費用がかかり、それぞれの施設には多額の運営費を要しているため、建設費および運営費は効率的でなければならぬと考える。文化ゾーン活性化とその検証を目的としたカルチャーマーケットは、各施設が離れた場所に

あることにより相乗効果を図ることが困難で、周辺への波及効果に限定的である印象を強く持った。

前述の要素を勘案し、継続すべきと判断される施設については複合化し、新設することが有効ではないか。その複合施設を市街地に立地させるべきと思う。女性活躍推進センター、CCRCとの連携、子育て支援施設などの機能、イベントスペースやマルシェ、レストランを併設するなど日常的なにぎわいを意識した複合施設とすることにより、店舗の出店や地価の上昇など周辺への波及効果につながり、さらには市外からの集客施設として発展するものと考えている。新設の場所については、状況の変化を見据えながら選定するとしても、このような複合施設を市街地に設置する準備を進めていくべきと思うが、考えを伺う。

**答弁** 社会教育施設が現在抱えている課題や解決に向けた視点は、ご指摘のとおりであり、現在、機能の選別について検討を進めています。本市にとってどのような形がいいのか、市全体で議論を進めたいと考えています。